

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第二小学校

## 1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

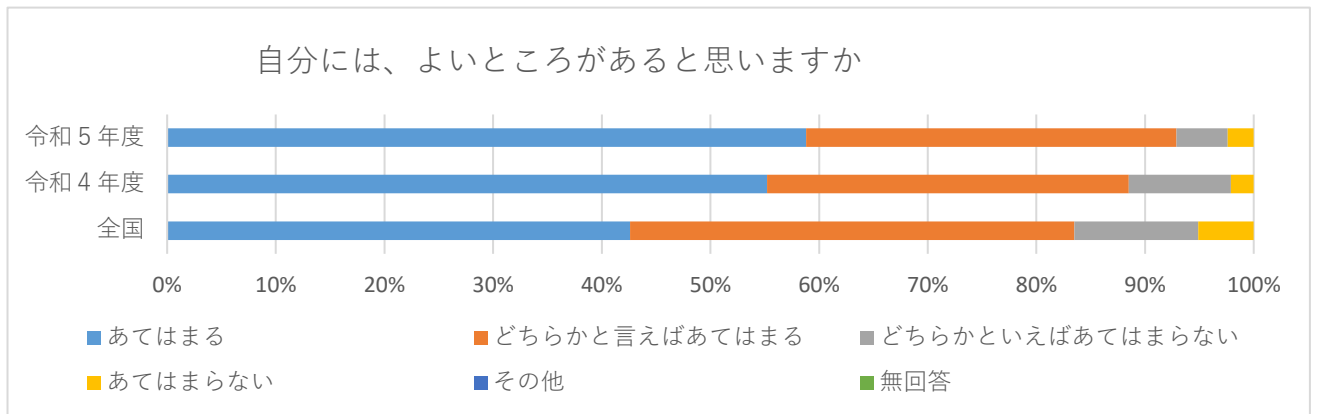
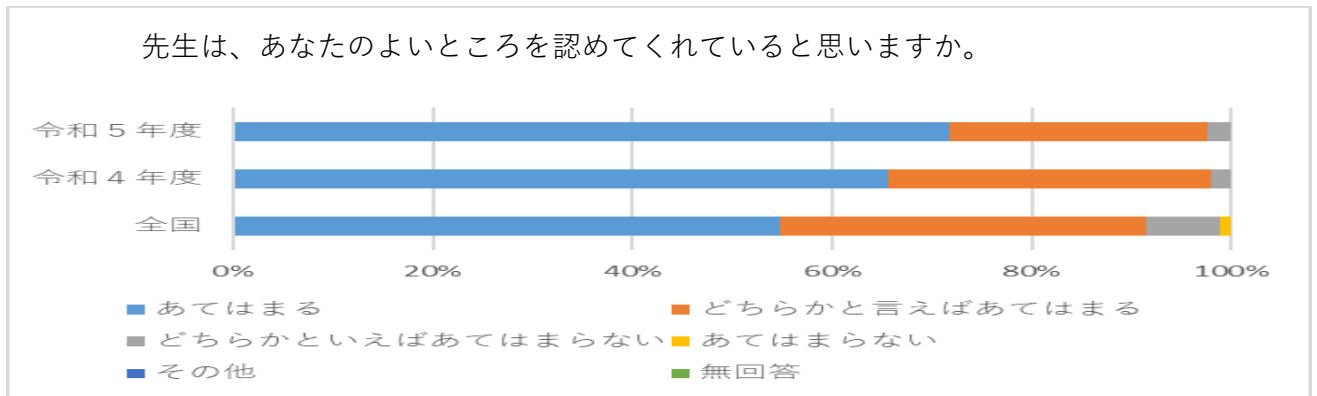
- 平均正答率の対全国比は、国語についてはほぼ同等、算数については上回る結果でした。
- 国語の調査では、昨年に引き続き「書くこと」に課題が見られました。
- 算数の調査では、どの領域においても良好な結果でした。3年生以上の学年については、校内で少人数の指導を取り入れていることの成果だと思われます。ですが、理由や求め方を言葉や数を使って記述することにおいては、課題が見られました。

## 2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「読むこと」の領域で、「情報の扱い」や「情報の関係性」について読み取ることができています。本校で取り組んでいる独自学習や相互学習による「読み深める」学習の成果が表れていると考えられます。</li><li>• 敬語の使い方や送り仮名に注意した漢字の正しい使い方について概ね理解できていると考えられます。漢字カルタを活用した学習の成果であると考えられます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 記述式の問いについて、文章や資料、会話文の中からポイントを読み取る力やまとめる力に課題が見られます。複数の条件を満たすことができていません。</li><li>• 同音異義語に課題が見られます。</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>• すべての領域において、平均正答率が全国平均を上回っており、基本的事項について十分に理解していることがうかがえます。</li><li>• 「変化と関係」の領域において、比例についての理解ができています。少人数による学習やICTを活用した学習の成果であると考えられます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「図形」の領域において、図形の定義が曖昧になっているか正確に理解できていない可能性があります。</li><li>• 求め方や理由、読み取ったことを文章や数を使って記述で答えることに課題が見られます。</li></ul>

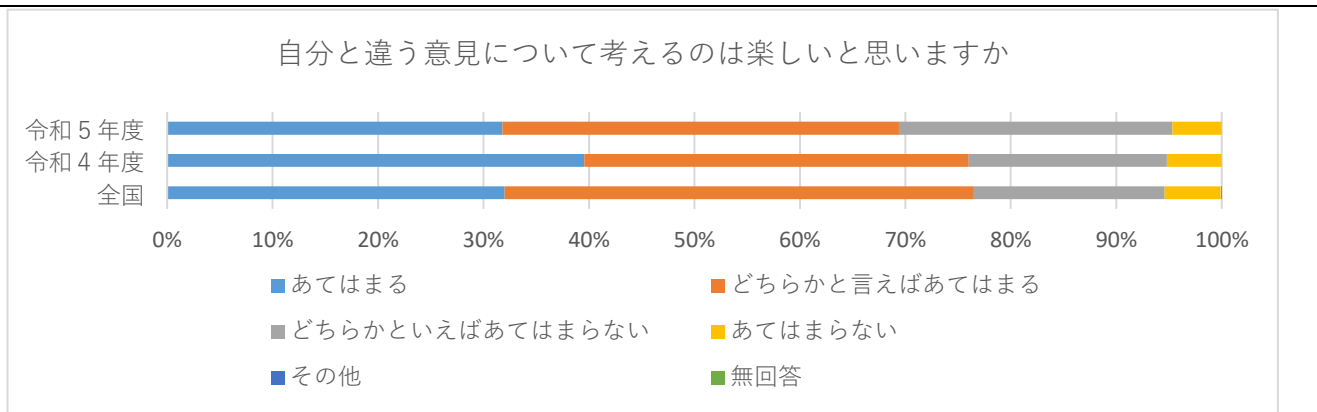
### 3. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉



自己肯定感が高く、教師との関係性も良好と考えられます。また、5年生の頃から6年生の行動を見て何をすべきか、学校や下学年のためにできることはないかと、高学年としての意識を高めています。先頭に立ち手本となって行動する姿を、学級通信や全校集会の場でも認められてきていることを素直に受け止めていると感じられます。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉



成果と相反して、肯定的回答が低くなっています。学級内やどの教科でも個別学習を踏まえて、相互学習や協働学習に取り組んでいるところです。自分の意見や考えを表現する方法や、他者の意見や考えを聞くことの良さをさらに伝えていく必要があると考えています。

#### 4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

##### (1) 基礎・基本の定着

- ・「チャレンジタイム」(朝学習)において、全学年が漢字カルタと計算練習に取り組んでまいります。学期に一回効果測定を行い、次の学期の学習への指標といたします。
- ・漢字学習については、成り立ちや使い方にも重点を置いて指導する。計算練習については、繰り返し取り組むことに重点を置いて指導してまいります。
- ・Good Book 企画と学級文庫の充実を図り、読書活動の推進を進めてまいります。

##### (2) 学習形態と授業内容の工夫

- ・独自学習と相互学習を効果的に進め、「読むこと」の力を高めてまいります。
- ・各教科でのノート指導やふりかえりの書き方の指導を充実させるようにし、条件に沿ってまとめることや、自分の考えを簡潔に表現することなど、「書くこと」の力を高めてまいります。
- ・設問をよく読み、必要なことを理解して書くことや、日常と結び付けて考えることができるよう、各教科で生活に関連させて学習を進めてまいります。
- ・新聞を使って、要点を読み取る学習や、要点をわかりやすく伝える学習を進めてまいります。

##### (3) ICTの活用

- ・隙間時間や朝学習、家庭学習でタブレットドリルを自ら進めていく習慣を作り、基礎基本的事項の定着を図ってまいります。
- ・クラスルーム、スプレッドシート、ジャムボード、オクリンクなどのソフトを活用し、友だちとの意見交流や自身の考えの発表などが円滑に進むようにしてまいります。授業内で効果的に取り入れることで、学習内容が深まるようにしてまいります。
- ・デジタル教科書、大型テレビの活用で視覚支援を行い、児童が安心して授業に取り組むことができるようにしてまいります。

##### (4) 教職員の授業力向上

- ・わかりやすく見通しのもてる授業づくりを進め、主体的・対話的で深い学びにつながる学習指導となるよう、教材研究を十分に行ってまいります。
- ・「考えが広がり、深まり、つながる授業づくり」という研究テーマのもと、児童自ら考えをもたせる工夫、考えをどのように表現し伝えるか、また伝え合うことで考えが深まっていくしかけの工夫をし、協働学習を大切にする授業研究を通して、授業力の向上を図ってまいります。

#### 5. 保護者・児童のみなさんへ

- ・授業では、「めあて」を明確にし、どのような課題に取り組むのか見通しをもって学習を進められるようにします。授業の最後には「振り返り」を行い、児童自身が身についたことやわかったこと、めあてを達成できたかどうかを確認するようにしています。一人ひとりが主体的に取り組むことができ、学級の仲間と一緒に高め合うことのできる授業を追求していきます。
- ・漢字カルタ、チャレンジ計算の取組みが、基礎・基本の力となるようていねいに取り組んでいきます。タブレットドリルの活用、読書指導をすすめ、自主学習の充実を図ります。
- ・どの教科でも、自分の考えをもち表現することや伝え合うことを大切にし、新聞づくりやノートまとめを通して「書くこと」の力をつけていくようにします。